第3回 漢字・言葉の学習②

国語

学習日　月　日

得点　/100点

問一 次の(1)～(10)の熟語の組み立てとして適切なものをあとのア～カの中から一つずつ選び、記号を書きなさい。（各2点）

(1) 新緑（　）
(2) 開閉（　）
(3) 道路（　）
(4) 乗車（　）
(5) 無限（　）
(6) 人造（　）
(7) 曲線（　）
(8) 着席（　）
(9) 豊富（　）
(10) 不便（　）

ア 反対や対の意味の漢字を組み合わせてできている。
イ 似通った意味の漢字を組み合わせてできている。
ウ 上の漢字が下の漢字を修飾（説明）する関係にある。
エ 下の漢字が上の漢字の目的などを表している。
オ 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係になっている。
カ 上に「不・非・未・無」などの語がつくことによって、下の漢字の意味を打ち消す関係になっている。

問二 次の(1)～(4)の三字熟語の組み立てがわかるように、例にならって「／」を書きなさい。（各2点）

例 近代／化 →「二字＋一字」の組み立て

(1) 経済的
(2) 入場券
(3) 新発売
(4) 不注意

問三 次の(1)～(3)の意味の四字熟語になるように、□に適切な漢字を書きなさい。（両方できて各4点）

(1) 【意味】混乱してあっちへ行ったりこっちへ行ったりすること。
□往 □往

(2) 【意味】一つのことをして、二つの利益を得ること。
□石 □鳥

(3) 【意味】前置きをせず、すぐに本題に入ること。
□□直入

国語

問四 次の(1)～(3)の「とる」の意味として適切なものをあとのア～ウの中から一つずつ選び、記号を書きなさい。（各5点）

(1) 計画が失敗した責任をとる。（　）
(2) たなの上にある本をとる。（　）
(3) 頭にかぶっていたぼうしをとる。（　）

ア はなれたものを手でつかむ。
イ 必要のないものをそこから除く。
ウ 自分のものとして引き受ける。

問五 次の――①～③の「手」の意味として適切なものをあとのア～エの中から一つずつ選び、記号を書きなさい。（各5点）

ある日、私はふとしたことからこわれたラジオを①手に入れた。このラジオを直す②手はないかと考えて分解してみたところ、うっかり③手にけがをしてしまった。手が治ったら、今度は気をつけながら、もう一度組み立ててみようと思う。

①（　）　②（　）　③（　）

ア かたから指先までをふくむ体の部分。
イ 手段。方法。
ウ 労働力。働く人。
エ 所有すること。

問六 次の(1)～(5)の――のカタカナを漢字に直しなさい（同じ漢字は二回使わないこと）。（各3点）

(1) ①シオの流れが速い。
②なべにシオを加える。
□□

(2) ①部屋の中はアタタかい。
②アタタかいスープを飲む。
□□

(3) ①進むべき道をアヤマる。
②時間におくれたことをアヤマる。
□□

(4) ①父は図書館にツトめている。
②会議の司会をツトめる。
□□

(5) ①歌手になるという夢がヤブれる。
②大会の三回戦でヤブれる。
□□

答えは『答えと考え方』